

・シヨブロン訪問団が来市絆を深める ・まちなかオフィスが待望のオープン ・「花輪祭の屋台行事」がユネスコ登録



平成28年第7回定例会

平成28年第7回鹿角市議会定例会が11月30日から12月22日までの23日間の会期で開かれ、議案や補正予算案などが審議されました。議会初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■東日本大震災の損害賠償で和解

東日本大震災における福島原子力発電所の事故を原因とする損害や影響対策事業に要した経費のうち、東京電力株式会社が損害賠償請求に応じない費用について、本市が原子力損害賠償紛争解決センターに申し立てた損害額の55・6％にあたる3119万円を損害と認定する和解案が提示されました。

市の主張が相当程度認められたため、この和解案を受け入れることとします。

■コンプライアンスの推進

不適切な事務処理の再発防止に向け、職員にさらなるコンプライアンス行動の実践を促すため、コンプライアンス推進本部会議を開催して、今後の具体的な行動計画

等を協議しました。

この会議には、2人の外部有識者からも協力をいただき、民間の視点を交えてそれぞれの観点から意見交換を行いました。

今後は、既に取り組んでいる対策も含め、この会議で出された意見や提案を踏まえた指針やアクションプランを取りまとめることとしていきます。

■シヨブロン市との絆を深める

11月7日～11日の5日間、ハンガリー国シヨブロン市の行政訪問団が本市を訪れ、歓迎レセプションや管内視察での交流を通じ、本市への理解を深めました。

今後に向けた協議では、2020年の東京オリンピック開催までに、本市がハンガリーを相手国とするホストタウンの登録を受け、新たに

スポーツ分野での友好交流を進めていくことで合意しました。

また、9代目となる日本語学指導員が10月25日に渡航しましたが、両市民の相互理解や交流の懸け橋役としての活躍を期待しています。

■民生委員・児童委員の改選

12月1日から新たに民生委員や児童委員、主任児童委員になられる120人の方々に、厚生労働大臣および秋田県知事からの委嘱状を伝達します。

市民の皆さんが住み慣れた地域で笑顔で暮らしていけるよう、活躍を期待します。

■「北限のもも」認知度が高まる

今年の「北限のもも」は、果実

■万全の除雪体制で臨む

今冬は市と委託業者により、除雪機械107台の体制で除雪作業を実施します。冬期間における市民の安全・安心な通行確保に向けて、確実に安全な除雪作業に万全を期します。

■市内小中学校の再編協議が進む

10月28日に「花輪第一・花輪第二中学校再編協議会」を設立し、第1回目の会議において、統合時期を平成32年4月と決定しました。

また、先に設立した「末広・十和田小学校再編協議会」と「草木・大湯小学校再編協議会」では、統合後の学校名、校歌、校章は、現在の十和田小学校と大湯小学校のものを引き継ぐと決定し、通学方

法や体操服などの具体的内容についても協議が終了しました。

今後は、子どもたちの交流活動や教職員の意見交換等を中心に、統合に向けた取り組みを進めていきます。

■「花輪祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産登録へ

「花輪祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録について、10月31日に開催されたユネスコの評価機関による事前審査において、「記載」の勧告が出されました。※12月2日に登録となりました。（関連記事は4～5ページ）

問 総務課 行政班 ☎ 30-0203



1 ストーンサークル館を視察するシヨブロン市行政訪問団。

2 きりたんぼ発祥まつりでは外国人観光客も多く訪れ大盛況となりました。

3 まちなかオフィスオープニングセレモニーの様子。

4 今シーズンの除雪作業の無事を祈願しました。